

第三者研究会での意見の概要及び意見に対する対応状況

1. 第三者研究会の名称 次世代マルチモーダル ITS 研究会（メンバー及び開催状況別紙）	
2. 第三者研究会での意見の概要及び対応	
意見の概要	意見に対する対応状況
<p>ドライバーの囲い込みとして有益なマイドライバー機能の結果はどのように検証されているか。</p> <p>本実証実験におけるドライバーと客との直接会話による配車依頼というコンセプトは一定の評価があった。このため、オペレーターを介さないことによって、ドライバーと客とのトラブルが低下する点や、公共交通としてのタクシーの利便性向上という点についても報告書で触れるべきである。</p> <p>実験後の各社の売り上げについては、結果を調査しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none">・利用者母数が小さかったため、判断が難しい。しかし、英語及び観光ドライバーの指定機能を含め、利用者の需要が存在する記述を追加する。・オペレーターを介さず、直接ドライバーと会話することによる詳細な迎車場所の設定等は本実証実験のメリットであり、報告書に記述する。・名古屋タクシー協会の協力のもと、利用者動向の調査は実施したが、各事業者とドライバーの売り上げは調査項目に入れなかった。しかし、実験に参加することによって、全体の3%の顧客を新たに増加させた実績を報告書に記述する。